

# CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	A1インターナショナルビル新築工事	階数	地上2F
建設地	広島県広島市西区南観音町16-3, 1	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	5人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,300時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2021年10月28日
敷地面積	1,878 m <sup>2</sup>	作成者	佐々木 大輔
建築面積	1,073 m <sup>2</sup>	確認日	2021年10月28日
延床面積	2,075 m <sup>2</sup>	確認者	千葉 裕則



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 87% (161 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 87% (161 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 87% (161 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

音環境	3.0
温熱環境	2.0
光・視環境	2.8
空気質環境	3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	2.5
耐用性	2.8
対応性	4.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	1.5

**LR のスコア = 2.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.3

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	2.7
効率的	1.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.0
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.5
地域環境	2.8
周辺環境	3.2

### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.5

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 2.7	スコア = 1.5	スコア = 3.1
<b>設計の計画段階に配慮した事項</b> //再生クラッシュラン(舗装)、タイル(床材)、長尺塩ビシート(床材) 発泡剤を用いた断熱材を使用していない/LCCO <sub>2</sub> 排出率87%	<b>設計の計画段階に配慮した事項</b> /	<b>設計の計画段階に配慮した事項</b> 床:タイル65年、壁・天井:石膏ボード25年 空調・給排水管は上位2種類以上にB以上を使用/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される